

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公開番号】特開2004-337657(P2004-337657A)

【公開日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2003-134250(P2003-134250)

【国際特許分類】

**C 0 2 F 1/06 (2006.01)**

**B 0 1 D 1/16 (2006.01)**

**B 0 1 D 1/26 (2006.01)**

【F I】

C 0 2 F 1/06 Z A B

B 0 1 D 1/16

B 0 1 D 1/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月6日(2006.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

揮発性有機化合物を含む廃水を、大気圧より低い減圧に維持した第1密閉容器の内部に、当該廃水に空気等の気体を溶解した状態で噴出するように供給し、この第1密閉容器から排出される廃水を、大気圧より低い減圧に維持した第2密閉容器の内部に、当該廃水に空気等の気体を溶解した状態で噴出するように供給する一方、前記第2密閉容器内で発生した水蒸気を熱源の一部として、前記第1密閉容器に供給する廃水の温度を第1密閉容器内の飽和蒸気温度に等しい温度から当該飽和蒸気温度よりも4 だけ低い温度までの温度範囲内のうち任意の温度に維持するとともに、前記第2密閉容器に供給する廃水の温度を第2密閉容器内の飽和蒸気温度から当該飽和蒸気温度よりも5 だけ高い温度までの温度範囲内のうち任意の温度に維持することを特徴とする廃水中の揮発性有機化合物を分離する方法。